

国指定史跡

てきがいそう

『荻外荘』団体見学会

館内
ガイド付

近衛文麿の旧宅

荻外荘は、1927年(昭和2年)に大正天皇の侍医・入澤達吉の別邸として建てられました。設計は日本最初の建築史家として活躍した建築家の伊東忠太です。その後本邸として住まわれましたが1937年(昭和12年)に入澤より譲り受けた当時、内閣総理大臣だった近衛文麿が移り住み、さまざまな政治の舞台となっていきます。2016(平成28)年に国の史跡として指定されました。



国史跡 荻外荘 (近衛文麿旧宅)

荻外荘の南側は芝生広場の公園になっており、近衛が暮らしていた時代の樹木も残っています。広場内の井戸は現在も使用可能です。

『荻外荘』団体見学会 (館内ガイド付 30分付)

開催日：令和8年11月16日(月)

集合：中央線「荻窪駅」北口『北口広場』午前9時30分集合

参加費：入園料300円(当日集金) ※申込者20名以上の場合団体料金250円

募集：25名 ※定員になり次第締め切りとなります

申込み：受付開始10月19日(月)より電話(0422-53-8665)にて受付開始します

お釣りがないように
ご協力お願いします

【客間】近衛内閣組閣時の昭和15年7月19日、日中戦争が長期化する中で戦争路線の方針を決める「荻窪会談」がここで行われました。



【書斎】第二次世界大戦終戦後、戦犯容疑をかけられた近衛は、昭和20年12月16日早朝、この書斎で自決しました。



このえふみまる
近衛文麿(1891-1945)東京生まれ。近衛公爵家の出身。首相を3度務める。終戦後戦犯容疑を受け自決。
いとうちゅうた
伊東忠太(1867-1954)山形生まれ。「建築進化論」を唱え、平安神宮や築地本願寺などの建築物を設計。
いりさわつきち
入澤達吉(1865-1938)新潟生まれ。日本の内科学確立に貢献し、大正天皇の侍医頭として献身的に尽力。

『荻外荘公園』 杉並区荻窪2丁目43



【荻外荘歴史】

昭和2年12月入沢達吉の荻窪別邸創建
(昭和12年6月第一次近衛内閣成立)
昭和12年11月近衛文麿に譲渡される
(昭和14年1月内閣総辞職)
昭和15年7月荻窪会議が行われる
(昭和15年7月第二次近衛内閣成立)
(昭和16年7月総辞職、第三次内閣成立)
昭和16年10月荻外荘会議が行われる
(昭和16年12月太平洋戦争開戦)
(昭和20年8月終戦)
昭和20年12月近衛文麿が荻外荘にて自決

【当日の集合場所】

中央線「荻窪駅」東改札より出て北口

集合はこちら！「北口」を出て
新宿方面、横『北口広場』



【行程】

荻窪駅北口 集合 (9:30)

➡ 9:50 『荻外荘』着

ガイド開始まで公園自由散策

➡ 10:00 館内入館

ガイドツアー開始 (30分程度)

自由散策 (30分程度)

➡ 11:00 現地解散

解散後、自由散策可能

※ 近隣には『角川庭園』、
『大黒公園』など有



【注意事項】

- ※必ず事前に申し込みをして下さい
- ※悪天中止 (当日、朝8:00天候にて決定)
- ※散策中のケガ等については自己責任となります
- ※当日、緊急連絡先:090-7183-1693

主催：一般社団法人 武蔵野青色申告会
武蔵野市吉祥寺本町3-22-12
事業広報委員会委員長 樋口智志